

電子調達システム 次期ブラウザ対応

受注者様向け設定手順書

第 1.4 版

2023 年 3 月 10 日作成 富士通 Japan 株式会社

2025 年 8 月 27 日改訂 札幌市契約管理課

改版履歴

版数	作成日／変更日	改版内容
第 1.0 版	2021 年 12 月 15 日	初版作成
第 1.1 版	2022 年 1 月 7 日	全体: 検証サイトのプロトコルを『https』に変更 8. 接続テスト: 証明書エラーが表示された際の操作を追記
第 1.2 版	2022 年 4 月 1 日	3.3. 事前検証ツール実行結果の確認: OS に Windows11 を追加 3.3. 事前検証ツール実行結果の確認: ブラウザの設定ファイルを読み込めなかった際の手順を追記
第 1.3 版	2023 年 3 月 10 日	補助アプリ V1.3.0 に対応
第 1.4 版	2025 年 8 月 27 日	Microsoft Edge のバージョン「139.0.3405.102」に対応した内容に修正(札幌市契約管理課にて修正を実施)

目次

1. はじめに	3
2. 設定の順序.....	4
3. ブラウザの設定	5
3.1. Microsoft Edge の設定.....	5
(1) キャッシュクリア	5
(2) ポップアップ許可登録.....	8
4. 電子入札補助アプリの設定	12
5. 事前検証ツールの実行	16
5.1. 事前検証ツールの入手.....	16
5.2. 事前検証ツールの実行.....	16
5.3. 事前検証ツール実行結果の確認	17
5.4. 事前検証ツール実行の再実行.....	20
6. ブラウザのインストール.....	20
6.1. Microsoft Edge のインストール	20
7. 電子入札補助アプリのバージョンアップ	20

1. はじめに

本書は、電子調達システム 次期ブラウザ対応に向けた準備・設定を行うマニュアルです。
一般的な機能や操作手順については製品マニュアルを参照ください。

各画面イメージは、実際に表示される画面内容と異なる場合がございますので、ご了承ください。

略称について

- IE : Internet Explorer の略です。
- Edge : Microsoft Edge の略です。

登録商標について

- SuperCALS は、富士通 Japan 株式会社の登録商標です。
- Windows、Internet Explorer および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

サポートスケジュールについて

●Edge : 6 月 6 日(月)

2. 設定の順序

次期ブラウザ対応後※は、電子調達システムを利用する際は、**Microsoft Edge** を利用ください。

※システム設定変更日は別途通知をご確認ください。

以下の順序で各種設定とテストを行います。

No.	設定内容	説明
1	ブラウザの設定	ブラウザの設定を実施します。 設定項目は以下になります。 ・キャッシュクリア ・ポップアップ許可
2	電子入札補助アプリの設定	補助アプリケーションのインストールまたはアップデートが必要となった場合に実施します。
3	事前検証ツールの実行	ブラウザ設定及び電子入札補助アプリの設定を行った後にエラーが発生した場合、事前検証ツールを実行し、設定が必要な項目を確認します。
4	ブラウザのインストール	事前検証ツールにて、ブラウザのインストールが必要となった場合に実施します。
5	電子入札補助アプリのバージョンアップ	事前検証ツールにて、電子入札補助アプリのバージョンアップが必要となった場合に実施します。

3. ブラウザの設定

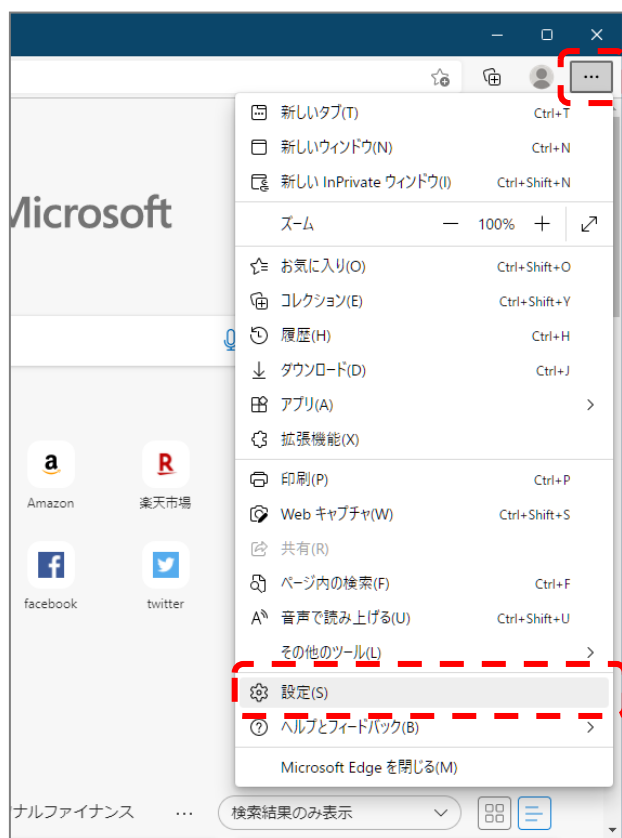
電子調達システムで利用するブラウザの設定を行います。

Microsoft Edge のバージョンによって設定時の画面が異なります。下記では令和7年8月 27 日時点の最新バージョンとなる「バージョン 139.0.3405.102」の画面を記載しております。

3.1. Microsoft Edge の設定

(1) キャッシュクリア

- ① Microsoft Edge のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。



- ② 画面左側のメニューにある『プライバシー、検索、サービス』をクリックし、表示された画面の『閲覧データをクリア』ボタンをクリックします。



プライバシー、検索、サービス

閲覧データをクリア 誤字防止 閉じるときに閲覧データをクリアする 追跡防止

追跡防止
Web サイトでトラッカーを使用して閲覧に関する情報を収集する方法を管理します

閲覧データをクリア
このプロファイルから履歴、パスワード、Cookie などをクリアします

プライバシー
Edge のプライバシーの設定を管理します

セキュリティ
Edge のセキュリティ設定を管理する

Cookie
サイトとセッション間の継続的なブラウジングを容易にするために、デバイスに Cookie とデータを保存する

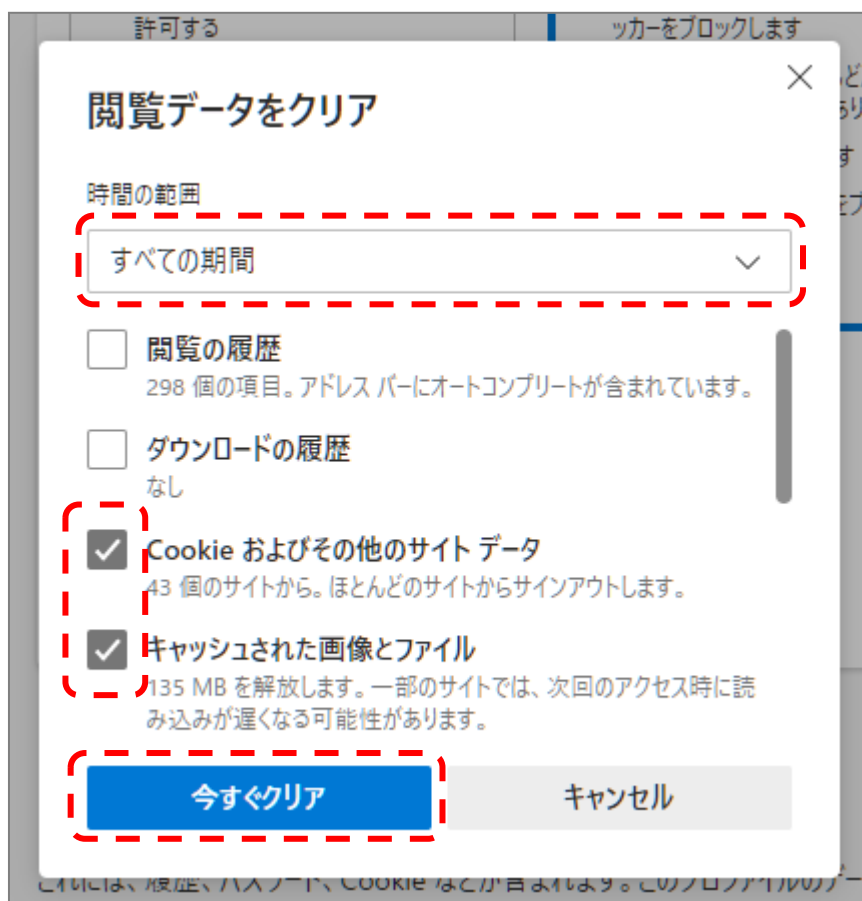
サイトのアクセス許可
すべてのサイトに適用されるアクセス許可を管理します

検索と接続されたエクスペリエンス
Edge の検索、接続されたエクスペリエンス、サービスを管理します

- ③ 『今すぐ閲覧データをクリア』にある『クリアするデータの選択』ボタンをクリックします。



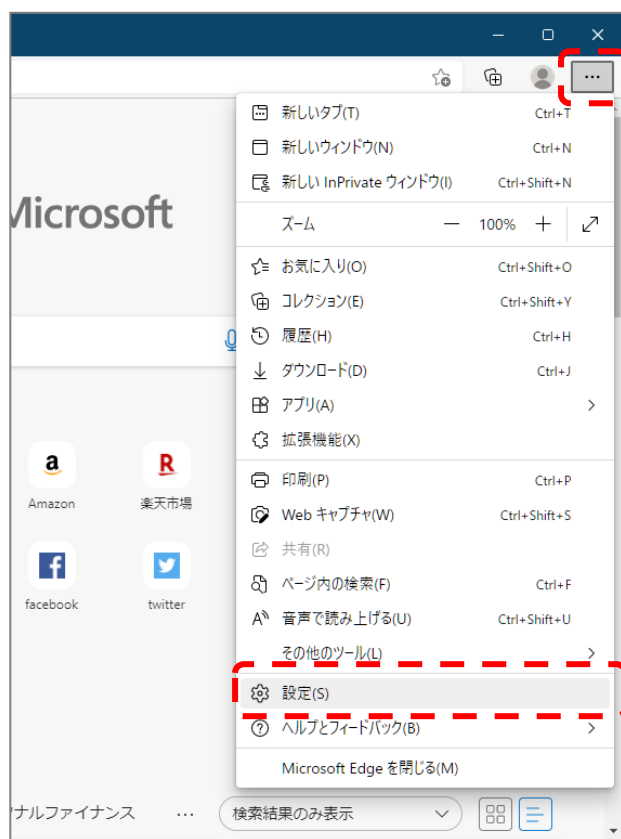
- ④ 時間の範囲は『すべての期間』を選択し、『Cookie およびその他のサイトデータ』と『キャッシュされた画像とファイル』のチェックボックスにチェック☑をし、『今すぐクリア』ボタンをクリックします。



以上でキャッシュクリアは完了です。続けて、ポップアップ許可登録を実施ください。

(2) ポップアップ許可登録

- ① Microsoft Edge のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。



② 「サイトのアクセス許可」をクリックします。

≡ 設定

設定の検索

プライバシー、検索、サービス

🗑️ 閲覧データをクリア

🔒 誤字防止

🔄 閉じるときに閲覧データをクリアする

🕸️ 追跡防止

🕸️ 追跡防止

Web サイトでトラッカーを使用して閲覧に関する情報を収集する方法を管理します

🗑️

閲覧データをクリア

このプロフィールから履歴、パスワード、Cookie などをクリアします

🔒

プライバシー

Edge のプライバシーの設定を管理します

🔒

セキュリティ

Edge のセキュリティ設定を管理する

🍪

Cookie

サイトとセッション間の継続的なブラウジングを容易にするために、デバイスに Cookie とデータを保存する

🔒

サイトのアクセス許可

すべてのサイトに適用されるアクセス許可を管理します

🔍

検索と接続されたエクスペリエンス

Edge の検索、接続されたエクスペリエンス、サービスを管理します

③ 「すべてのアクセス許可」をクリックします。

≡ 設定

← プライバシー、検索、サービス / サイトのアクセス許可

🗑️

すべてのサイト

閲覧したサイトのアクセス許可を表示する

🕒

最近のアクティビティ

サイトのアクセス許可に対して行われた最新の変更

🔒

すべてのアクセス許可

すべてのサイトに適用されるアクセス許可

④ 「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。

≡ 設定

設定の

← プライバシー、検索、サービス / サイトのアクセス許可 / すべてのアクセス許可



⑤ 「ポップアップの送信とリダイレクトの使用を許可しました」から「サイトの許可」をクリックします。

≡ 設定

設定の検索

← プライバシー、検索、サービス / サイトのアクセス許可 / すべてのアクセス許可 / ポップアップとリダイレクト

既定動作

ブロック済み (推奨)



カスタマイズされた動作

以下に示すサイトは、既定ではなくカスタム設定に従います

ポップアップの送信とリダイレクトの使用は許可されていません

サイトの追加

追加されたサイトはありません

ポップアップの送信とリダイレクトの使用を許可しました

サイトの追加

⑥ 「サイトの追加」をクリックした後、画面の『サイト』に以下の表の URL を入力します。入力は 1URL ずつ行い、入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。2 つの URL の登録が必要なため、計 2 回実施してください。



No	URL	説明
1	https://www.bid.city.sapporo.jp	電子入札システム
2	https://www.ppi.city.sapporo.jp	入札情報システム

以上でポップアップ許可登録は完了です。

4. 電子入札補助アプリの設定

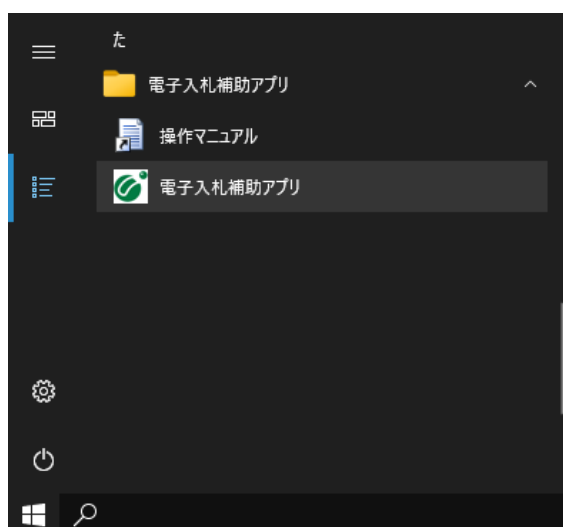
電子入札補助アプリの許可 URL リストの設定を行います。

許可 URL は事前チェックツールで『要確認』となった URL を追加登録します。

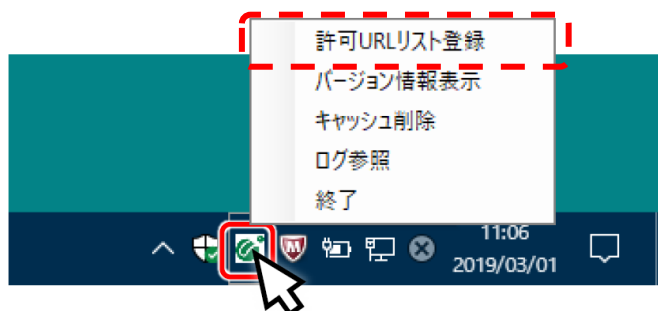
- ① 電子入札補助アプリを起動します。以下操作は起動方法の一例です。

例) Windows マークをクリックし、『すべてのアプリ』をクリックします。

表示されたアプリケーション一覧から『電子入札補助アプリ』をクリックします。



- ② 右下のタスクトレイの電子入札補助アプリアイコンを右クリックし、電子入札補助アプリのメニューを表示させ、『許可 URL リスト登録』をクリックします。



- ③ 『許可 URL リスト登録』画面の中央にあるテキスト入力エリアに URL を入力します。
 入力は 1URL ずつ行い、入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。

以下、表の1つの URL 追加が必要です。

No	URL	説明
1	https://www.bid.city.sapporo.jp	電子入札システム

- ④ URL が一覧に表示されていることを確認します。

問題なければ設定の保存のために、右上の『×』ボタンをクリックします。

許可URLリスト登録

許可されたサイトのURL

https://www.bid.city.sapporo.jp

追加

削除

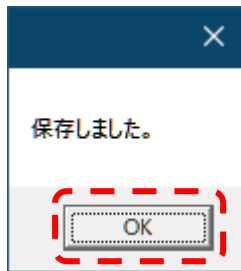
- ⑤ 『はい(Y)』をクリックし、設定を保存します。

許可URLリスト登録

変更した情報の保存を行いますか？

はい(Y) いいえ(N)

⑥ 『OK』をクリックし、設定を完了します。



以上で電子入札補助アプリの設定は完了です。

5. 事前検証ツールの実行

5.1. 事前検証ツールの入手

事前検証ツールはポータルより取得ください。

5.2. 事前検証ツールの実行

- ① 『3.1. 事前検証ツールの入手』でダウンロードした ZIP ファイルを解凍します。
- ② 解凍されたフォルダを開き、事前検証ツール『Check_tool_internet.hta』をダブルクリックし、実行します。
- ③ ツールが実行されると、以下のような画面が表示されます。
結果の見方は次項にて解説します。



5.3. 事前検証ツール実行結果の確認

① クライアントの各種ソフトのバージョン確認

お使いのパソコン環境の情報が表示されます。以下、表示例です。

1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認

クライアントの各種ソフトのバージョンが動作検証済の組み合わせかを確認した結果は次の通りです。

この端末で使用している各種ソフトのバージョン

	バージョン	確認結果
OS	Windows 10	【OK】
Microsoft Edge	96.0.1054.53	【OK】
Google Chrome	インストール未	【要確認】
電子入札補助アプリ	1.0.0	【要確認】

Google Chromeがインストールされていません。
補助アプリがV1.1.0にバージョンアップされていません。
補助アプリをV1.1.0にバージョンアップしてください。

項目	内容
OS	パソコンの OS バージョンが表示されます。 Windows 8.1, Windows 10, Windows 11 のいずれかをご利用ください。
Microsoft Edge	Edge がインストールされている場合、バージョンが表示されます。 89 以降のバージョンにてご利用ください。
電子入札補助アプリ	電子入札補助アプリのバージョンが表示されます。 V1.2.0 の以前場合、V1.3.0 へのバージョンアップが必要です。 2023 年 2 月時点の最新版アプリは V1.3.0 です。 ※V1.1.1 のインストールした場合、アプリは V1.1.0 と表示されます。

※Microsoft Edge と Google Chrome の両方が『インストール未』の場合、『4. ブラウザのインストール』にて、いずれかをインストールしてください。

② Microsoft Edge のポップアップ許可設定確認

Microsoft Edge をご利用する場合に設定が必要です。

『要確認』の場合、『5.1. Microsoft Edge の設定』に従って設定をしてください。

2. Microsoft Edgeのポップアップ許可設定確認

Microsoft Edgeにてポップアップが許可されているかを確認した結果は次の通りです。

【要確認】

https://www.bid.city.sapporo.jp (電子入札システムURL)がポップアップ許可されていない可能性があります。
https://www.ppi.city.sapporo.jp (入札情報システムURL)がポップアップ許可されていない可能性があります。
https://demo.ep-bid.supercals.jp (検証サイトURL)がポップアップ許可されていない可能性があります。

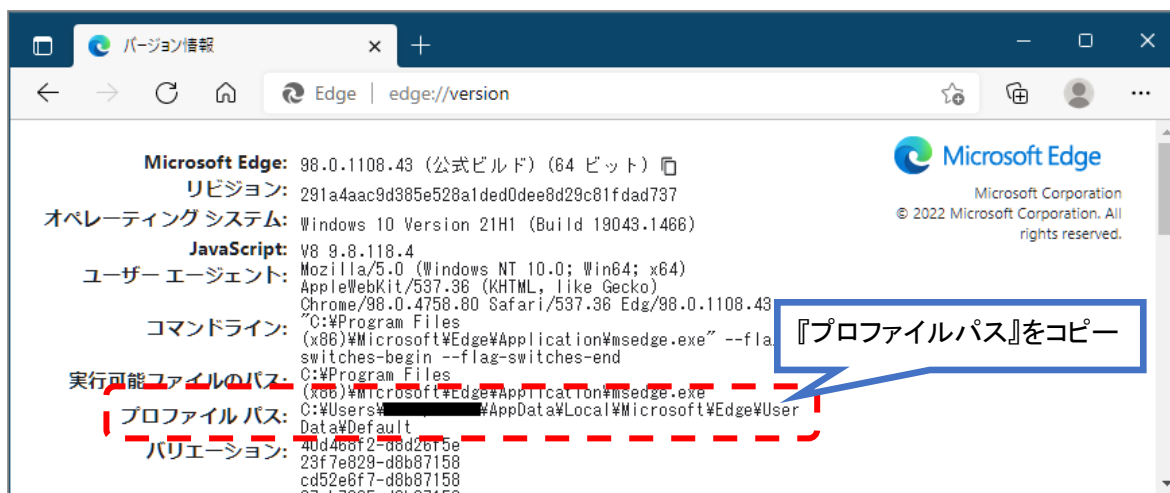
※設定情報が読み込めなかった場合、以下の【要確認】が表示されます。

表示された場合は、以降の 1) ～ 2) を実施してください。

【要確認】

設定情報が読み込めませんでした。

1) Microsoft Edge で「edge://version/」にアクセスします。



2) 表示された「プロファイル パス」の内容を以下に入力して「check」ボタンをクリックします。

◆設定ファイルの場所指定◆

Microsoft Edgeの設定ファイルの場所は自動で判断しています。
設定ファイルの場所を読み込めていない(デフォルトから変更した)場合は設定ファイルの場所を指定してください。

① Microsoft Edgeで「edge://version/」にアクセスします。
② 表示された「プロファイル パス」の内容を以下に入力して「check」ボタンをクリックします。

プロファイル パス:

結果が『要確認』の場合、『5.1. Microsoft Edge の設定』に従って設定をしてください。

③ 電子入札補助アプリ 許可 URL 設定確認

電子入札補助アプリのバージョンが V1.2.0 以前の場合、『対象外』となります。

『6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ』に従ってバージョンアップをしてください。

4. 電子入札補助アプリ 許可URL設定確認

電子入札補助アプリの許可URLが登録されているかを確認した結果は次の通りです。

【対象外】

電子入札補助アプリがインストールされていないか旧バージョンのため、判定できません。

電子入札補助アプリのバージョンが V1.3.0 で許可 URL 設定がされていない場合、『要確認』となります。

『7. 電子入札補助アプリの設定』に従って許可 URL の設定をしてください。

4. 電子入札補助アプリ 許可URL設定確認

電子入札補助アプリの許可URLが登録されているかを確認した結果は次の通りです。

【要確認】

<https://demo.ep-bid.supercals.jp> (検証サイトURL)が許可URLリストに正しく設定されていない可能性があります。
<https://demo.ep-bid.supercals.jp> を電子入札補助アプリの許可URLに設定してください。

5.4. 事前検証ツール実行の再実行

ソフトウェアのインストールや設定を実施した後に、事前検証ツールを再実行し『OK』となる事を確認します。

事前検証ツールを再実行する場合、再度『3.1. 事前検証ツールの実行』を行うか、事前検証ツール右上の『再読み込み』ボタンをクリックします。

6. ブラウザのインストール

電子調達システムで利用するブラウザをインストールします。

既に Microsoft Edge 又は Google Chrome がインストールされている(『OK』と表示された)場合、本章はスキップしてください。

6.1. Microsoft Edge のインストール

以下のサイトより Microsoft Edge のインストーラーをダウンロードし、実行してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge>

インストール完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『Microsoft Edge』の確認結果が『OK』となっていることを確認してください。

7. 電子入札補助アプリのバージョンアップ

電子入札補助アプリのバージョンアップを行います。

既に V1.3.0 以降のバージョンがインストールされている場合、本章はスキップしてください。

電子入札補助アプリは、ご利用されている民間認証局より入手してください。

連絡先等は以下の「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」をご確認ください。

- ・一般財団法人日本建設情報総合センター「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」

- ・<https://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>

入手後は、アプリ付属の手順書に沿ってバージョンアップ作業を実施ください。

バージョンアップ完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『電子入札補助アプリ』のバージョンが V1.3.0 以降となっていることを確認してください。

以上で Microsoft Edge の設定は完了です。